

保証書

ミルつきミキサー/ミキサー 保証書

持込修理

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型名	BM-FX08/BM-FG08		修理メモ
●お客様	●お名前	☎	
	●ご住所 〒		
●お買い上げ日 年月日	●販売店名・住所		
保証期間 お買い上げ日より	●		
●	●		

●印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

- ご転居、ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にお申しつけください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車輛、船舶へのとう載)に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
 - (ト) 消耗部品の交換。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

- お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社

〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06)6356-2391

愛情点検

長年ご使用のミルつきミキサー/ミキサーの点検を!



こ
あ
り
ま
せ
ん
症
状
ん
は
か

- ご使用中、電源コード・差込みプラグが異常に熱くなる
- 焦げくさいにおいがする
- 製品の一部に割れ、がたつき、ゆるみがある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。

ZOJIRUSHI

家庭用

ミルつきミキサー
ミキサー

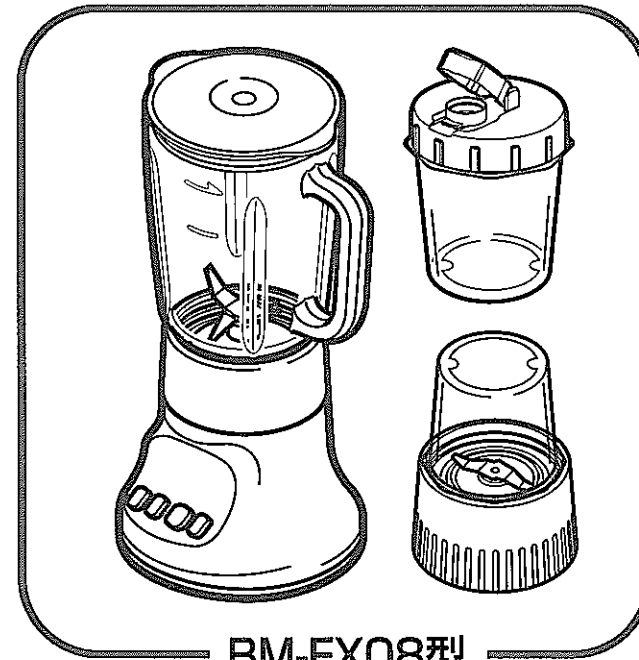
型名 BM-FX08型

型名 BM-FG08型

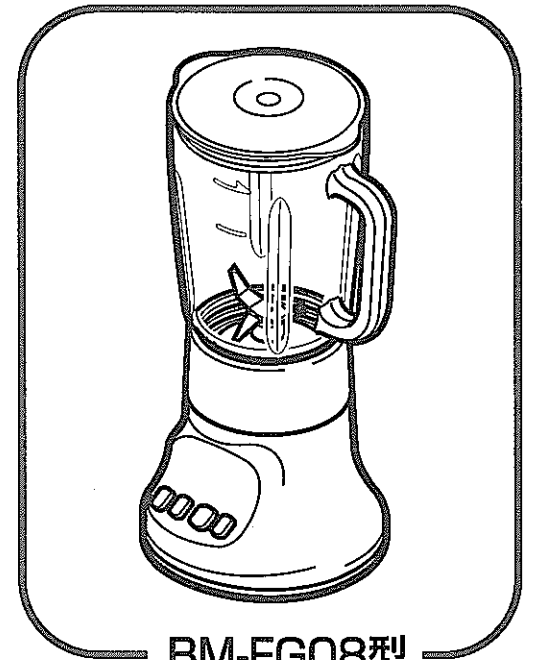
取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保存してください。

保証書つき



BM-FX08型



BM-FG08型

もくじ

安全上のご注意	2	お料理ノート	12
各部のなまえ	4	故障かなと思ったとき/仕様	18
使い方(ミキサー編)	6	アフターサービス	19
使い方(ミル編)	8	お客様ご相談窓口	19
お手入れ	10	保証書裏表紙	裏表紙

安全上のご注意 必ずお守りください

- ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷^{※1}を負うことが、想定される内容を表示します。

注意 取り扱いを誤った場合、傷害^{※2}または物的損害^{※3}の発生が、想定される内容を表示します。

※1 重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院、長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかる拡大損害をさします。



△記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な注意内容は図の中や近くに文章や絵で表します。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な禁止内容は図の中や近くに文章や絵で表します。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。具体的な指示内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

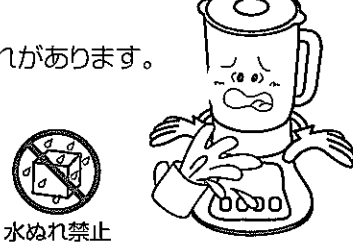
■お買い上げの製品と本書に記載されているイラストは異なる場合があります。

警告

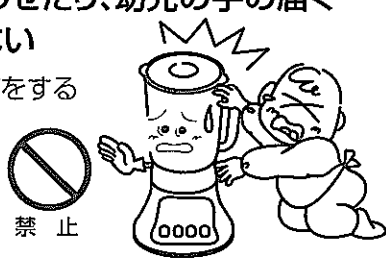
改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にてご相談ください。



水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の恐れがあります。



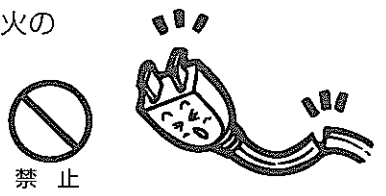
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがをする恐れがあります。



カッターや、回転部を露出したままで運転しない
けがをする恐れがあります。



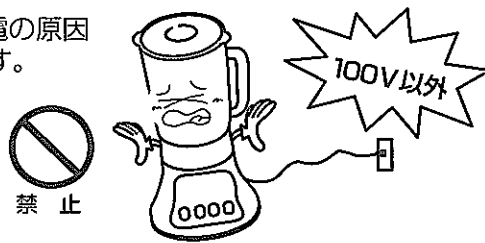
電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードを傷つけない
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因になります。

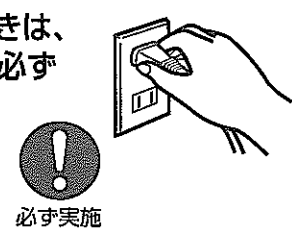


運転中に、ふたを開けたり容器の中へ指、スプーン、はしなど調理材料以外を入れない
けがをする恐れがあります。

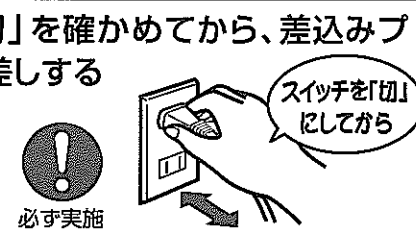


注意

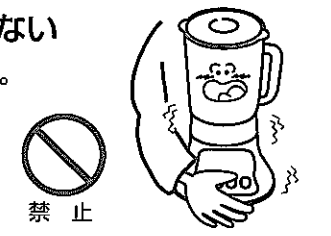
差し込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く
感電やショートして発火することがあります。



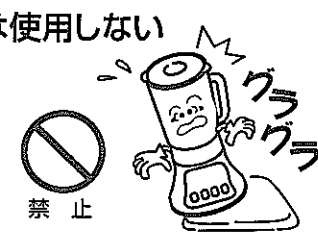
スイッチ「切」を確かめてから、差し込みプラグを抜き差しする
けがの原因になります。



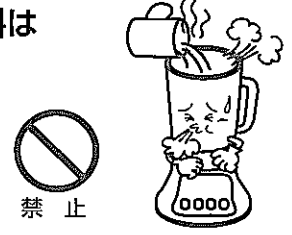
運転中に移動させない
けがの原因になります。



不安定なところでは使用しない
けがの原因になります。



40℃以上の熱い材料は容器に入れない
ふきこぼれによるやけどや、容器割れによるけがの原因になります。



運転中に容器、ふたの取り付け、取りはずしは行わない
けがの原因になります。



使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



部品の取り付け、取りはずし、およびお手入れするときは、スイッチを切り差し込みプラグを抜く
けがをする恐れがあります。

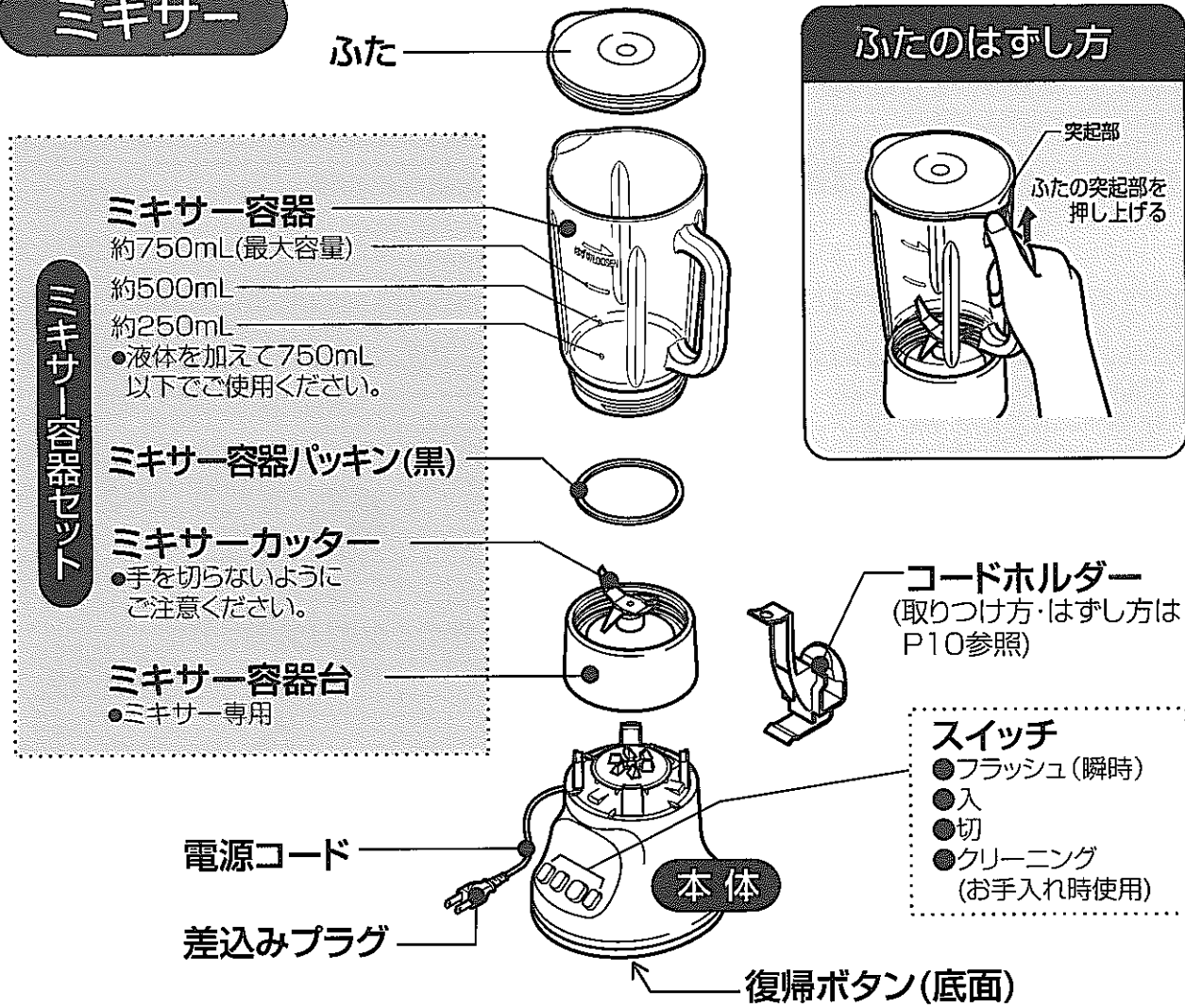


カッターは鋭利なので直接手を触れない
けがの原因になります。



各部のなまえ

ミキサー

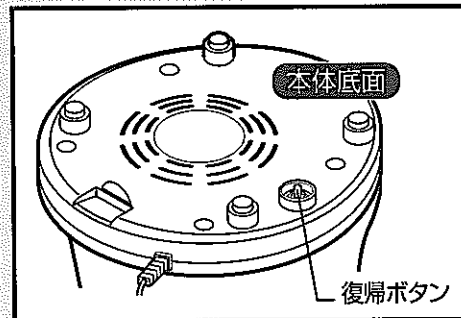


復帰ボタンについて

●容器内の材料が多いか、調理できない材料(P7,P8)が入っていると、モーターを保護するために保護装置がはたらき、運転を停止させます。そのときは、次の手順でやりなおしてください。

お願い 必ずスイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜いてください。

- ①ミキサー容器セットまたはミル容器セットをはずし、材料を減らします。
 - ②本体を裏返し、底面の復帰ボタン(赤)を奥まで押します。
 - ③ミキサー容器セットまたはミル容器セットを本体にのせ、再び運転します。
- 材料を減らしても運転がたびたび止まるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

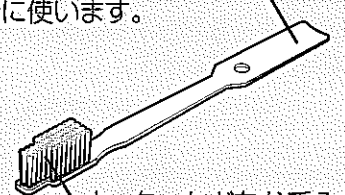


ミル (BM-FX08型のみ)



付属品

容器内の調理物を取り出すときに使います。



カッターなどをお手入れするときに使います。

へらつきブラシ

お願い

- 火気の近くで使用しないでください。変形の原因になります。
- ミキサー容器は必ず専用のミキサー容器台に取り付けてご利用ください。
- ミル容器は必ず専用のミル容器台に取り付けてご利用ください。
- 空運転はしないでください。故障の原因になります。
- ミルでひき肉、つみれ、みじん切り、スライス、おろしなどの調理はしないでください。

BM-FG08をお持ちの方へ

下記の別売品をお求めいただけますと、更に便利にご利用いただけます。

別売品 ●象印製品取扱店でお求めください。

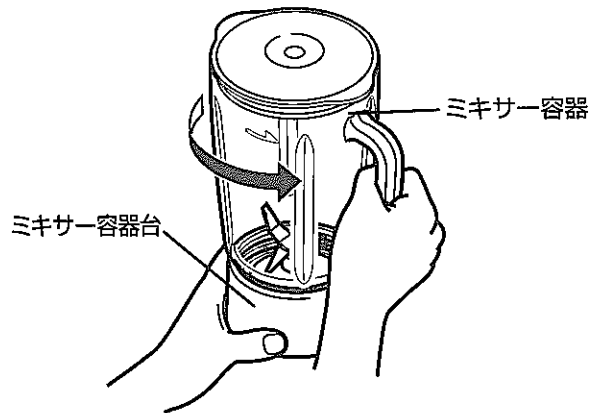
ミル容器ふたセット	部品番号：MILBMFX
ミル容器セット	部品番号：MILBMFE

使い方 (ミキサー編)

分解

ご使用前に本体部以外の部品をお手入れ(P10)の要領できれいに洗ってください。

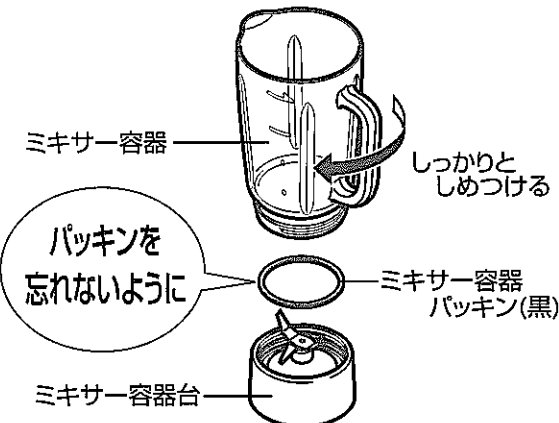
- ミキサー容器台を押さえ、ミキサー容器を矢印の方向に回します。



組み立て

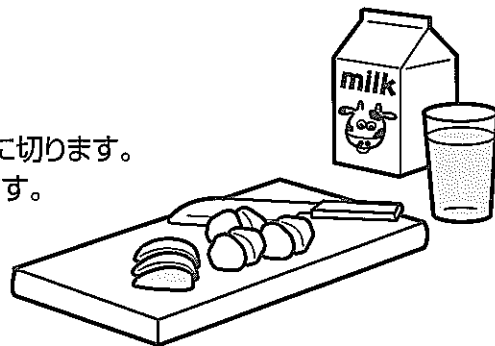
部品を洗った後、もともとどおりに組み立てます

- ミキサー容器台を押さえ、ミキサー容器を矢印の方向に回します。



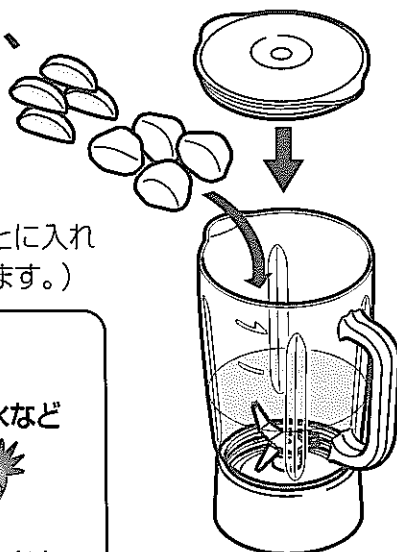
1 材料を準備する

- 材料は皮や芯、へたがある場合は取り除きます。
- やわらかい材料(りんごやバナナなど)は、2~3cm角に切ります。
- かたい材料(にんじん、セロリなど)は1cm角に切ります。
- 材料が熱い場合は、40℃以下に冷まします。
 - ◆材料はかたさに合わせて切ってください。
 - ◆大きいとうまくかくはんできないことがあります。



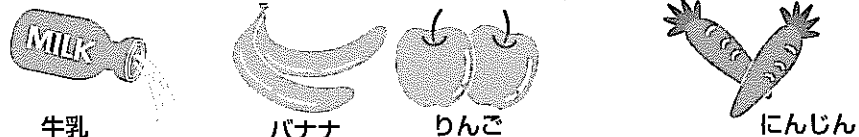
2 液体・材料をミキサー容器に入れ、ふたをする

- ◆材料は一度にできる最大容量以下にしてください。(液体を加えて750mL以下)
- ◆角氷を加えるときは、2.5cm角以下の氷を使い、他の材料のあとに入れてください。(大き過ぎたり、市販の氷を使うと故障の原因になります。)



使い方のコツ 材料を入れる順序は…

- 1.液体 → 2.水分を含むやわらかいもの → 3.かたいもの、氷など



3 ミキサー容器セットを本体にのせる

- スイッチ「切」を確認してから差し込みプラグをコンセントに差し込みます。

4 スイッチを入れる

- ◆ふたを押さえながらかくはんしてください。(押さえていないと、容器がゆれたり、材料や氷などが飛び出すことがあります。)
- ◆異常音や振動が大きいときは、すぐにスイッチを切り、材料を減らしてください。また、空回りしたり回りにくい場合は、水分を追加してください。(かき氷の場合を除く)
- ◆連続運転は4分以内にし、くり返し使用する場合は、2分以上休ませてからご使用ください。
- ◆かき氷を連続して作る時は60秒以内にし、2分以上休ませてからご使用ください。またそのつどカッター周囲の氷を水で洗い流してください。(氷が残っているとうまくできません。)
- ◆途中で材料を加える場合にはスイッチを切ってください。

フラッシュスイッチについて

- ★フラッシュスイッチは押している間だけ運転し、はなすと停止します。
- ★作ったジュースが分離したときなど短時間の運転にご使用ください。

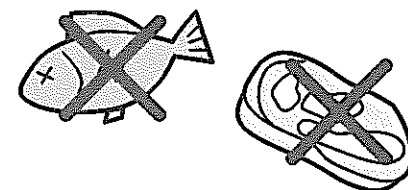
5 スイッチを切り、取り出す

- ◆調理物が取り出しにくいときは、へら(付属ブラシの柄側)、スプーンなどをご使用ください。
 - かき氷 … へら、スプーンなどで周囲の氷を落としてから、器に移す。
 - その他、とろみのあるもの … へら、スプーンなどでかき出す。

6 使用後は差し込みプラグをコンセントから抜く

調理できない材料 カッターやモーターに負担がかかり故障の原因になります。

- 肉・魚類
- ねばり気の強い材料(とろろいもなど)
- かたい材料・乾燥物(かつおぶし、乾燥した朝鮮にんじん、乾燥大豆、冷凍食品など)

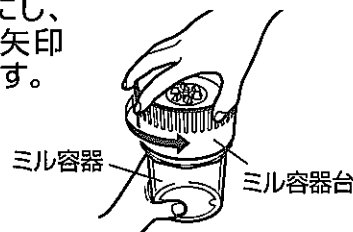


使い方(ミル編)

分解

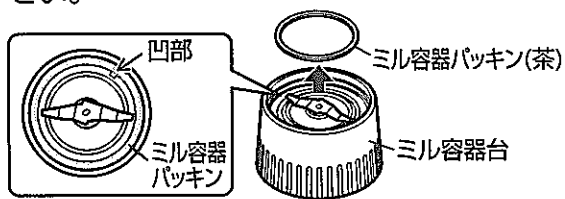
ご使用前に本体部以外の部品をお手入れ(P11)の要領できれいに洗ってください。

- ミル容器を下にし、ミル容器台を矢印の方向に回します。



＜ミル容器パッキンがはずれにくいとき＞

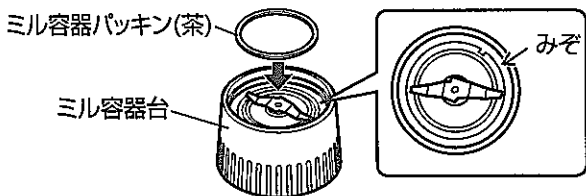
- 竹串、つまようじなどをミル容器台の凹部に入れ、ミル容器パッキンを浮かせてください。



組み立て

部品を洗った後、もとどおりに組み立てます。

- ミル容器台にミル容器パッキンを取り付けます。
 - ◆パッキンをみぞに確実に取りつけてください。(パッキンの上面を指で押さえつけてください。)
 - ◆パッキンが浮いた状態でご使用になると、ミルカッターによるパッキン破損の原因になります。



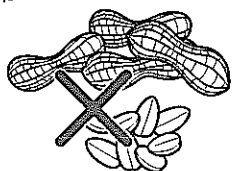
- ミル容器を下にし、ミル容器台を矢印の方向に回します。



調理できない材料

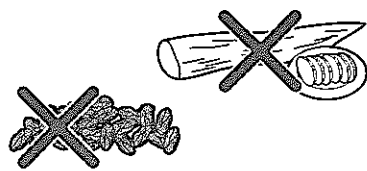
◇水分のあるものは、電子レンジやフライパンで水分をとばす。(桜えびやちりめんじゃこ)

- ◆ひき肉、つみれ、玉ねぎのみじん切り、大根おろし、野菜のペーストなどにはできません。
- ◆ピーナツなどの油分が出るもの
- ◆昆布



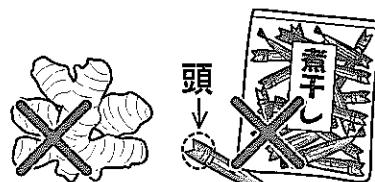
〔うまく粉碎できません。〕

- ◆レーズンなどのドライフルーツ
- ◆たくあん、肉類などの繊維質や筋の多いもの



〔材料が引っかかり、ミルカッターが回転しません。〕

- ◆氷砂糖、黒砂糖、かつおぶし、煮干しの頭、魚の骨、生大豆(火を通すと可能)果物の種などのかたいもの
- ◆根昆布 ◆漢方薬類(ウコンなど)



〔故障の原因になります。〕

1 材料をミル容器に入れる

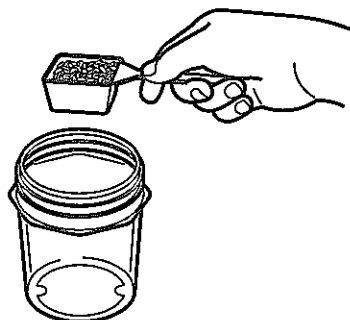
- ◆材料は、下準備をして、最大容量200mL(容器の $\frac{2}{3}$)以下でご使用ください。

- 下準備した材料は、

ドライ:完全に冷ましてから
ウェット:40℃以下で

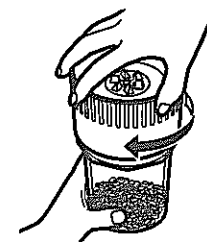
使用します。

- ◆ミル容器内の水気・油気をよくふき取ってください。



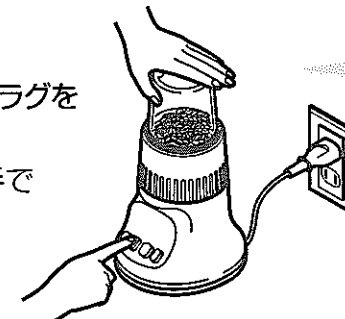
2 ミル容器台を1に取りつける

- ◆あらかじめミル容器パッキンをミル容器台に取りつけておいてください。
- ミル容器台を矢印の方向に回します。



3 ミル容器セットを本体にのせてスイッチを入れる

- スイッチ「切」を確認してから差込みプラグをコンセントに差し込みます。
- ◆ミル容器セットがぐらつかないように手で押さえながらかくはんしてください。



注意!!

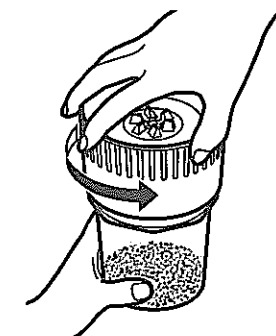
ミル容器セットは、必ず手で押さえしてお使いください

手で押さえないと運転中にミル容器セットが浮き上がって破損する恐れがあります。

●連続運転は60秒以内にし、くり返し使用する場合は、2分以上休ませてからご使用ください。

4 スイッチを切り、取り出す

- 回転部が完全に止まってから、ミル容器セットを本体からはずします。
- ミル容器を下に向け、軽くたたいて、内側に付着した調理物を落とします。
- ミル容器台を矢印の方向に回してはずし、調理物を取り出します。
- ミル容器台、ミルカッターに付着した調理物は、へら(付属ブラシの柄側)、スプーンなどで落としてください。



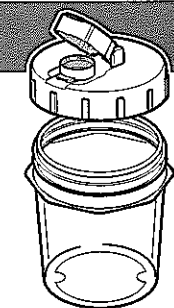
5 使用後は差込みプラグをコンセントから抜く

- 注意!!** ご使用後は、すぐにお手入れをしてください
時間がたつと、ミル容器台に材料のにおい、色が残りがやすくなります。(P11「お手入れ」参照)

ミル容器ふた

ミル容器ふたを使用すれば、ふりかけなど残った調理物を簡易的に保存するのに便利です。

- 液体物は保存しないでください。ミル容器を逆さにしたり斜めにすると調理物が漏れます。
- 保存される場合は冷蔵庫に入れ、なるべく当日中にご使用ください。
- ミル容器ふたのお手入れは、水またはぬるま湯(40℃以下)で、中性洗剤とスポンジで行ってください。



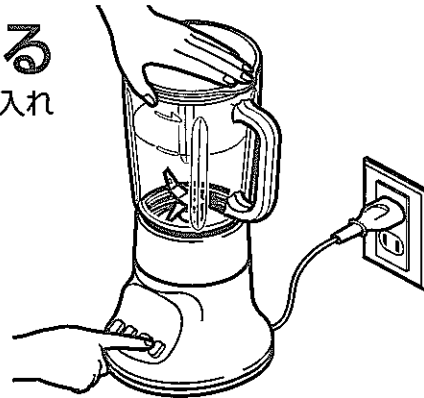
お手入れ

- 運転後は差込みプラグを抜いてください。
- お手入れは氷またはぬるま湯(40℃以下)で、中性洗剤とスポンジで行ってください。(シンナー・ベンジン・たわし・みがき粉などは使用しないでください。)
- 食器乾燥器または食器洗い乾燥機で乾燥させないでください。(樹脂部品の变形防止のため)

ミキサー

1 ミキサー容器をクリーニングする

- ミキサー容器に水またはぬるま湯(40℃以下)を750mL入れ少量(小さじ半分程度)の台所用中性洗剤を加えます。
- ◆洗剤を入れすぎないでください。あふれることがあります。
- ふたをします。
- クリーニングスイッチを押し、約30秒~2分間運転します。
- ◆汚れの程度により、時間を調整してください。
- ◆ふたを押さえながらクリーニングしてください。



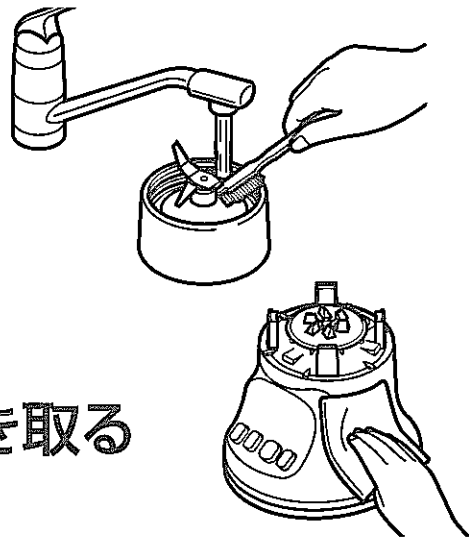
2 スイッチを切り、水(ぬるま湯)をすてる

3 ミキサー容器セットを分解する

- 本体から取りはずしたミキサー容器セットをミキサー容器・ミキサー容器台・ミキサー容器パッキンに分解します。(分解のしかたはP6参照)

4 水で流し洗います

- ふた・ミキサー容器・ミキサー容器台・ミキサー容器パッキンをそれぞれ水で流し洗います。
- つけおき洗いをしないでください。
- ミキサー容器台のカッターは手を切らないように注意し、付属のへらつきブラシなどで洗います。



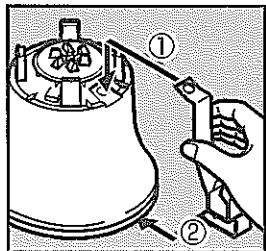
5 乾いたふきんでふき取る

6 本体の汚れをふきんでふき取る

コードホルダーについて

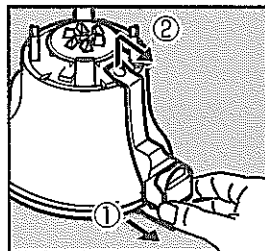
●取り付け方

本体上部の凸部にコードホルダー上部の穴を①の方向に入れ、コードホルダー下部を②の方向に押し込みます。



●はずし方

コードホルダー下部を①の方向に引き本体からコードホルダー上部の穴を②の方向にはずします。

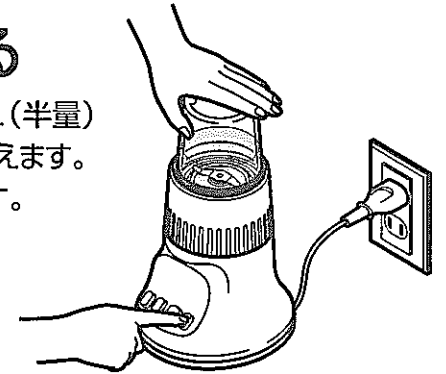


◆コードホルダーを持って本体を持ち運びしないでください。

ミル

1 ミル容器をクリーニングする

- ミル容器に水またはぬるま湯(40℃以下)を100mL(半量)ほど入れ少量(小さじ半分程度)の台所用中性洗剤を加えます。
- ミル容器にミル容器台を取りつけ、本体にセットします。
- ◆パッキンは忘れずに取りつけてください。
- クリーニングスイッチを押し、約1分間運転します。
- ◆汚れの程度により、時間を調整してください。
- ◆ミル容器セットがぐらつかないように手で押さえながらクリーニングしてください。



2 スイッチを切り、水(ぬるま湯)をすてる

3 ミル容器セットを分解する

- 本体から取りはずしたミル容器セットをミル容器・ミル容器台・ミル容器パッキンに分解します。(分解のしかたはP8参照)

4 水で流し洗います

- ミル容器・ミル容器台・ミル容器パッキンをそれぞれ水で流し洗います。
- つけおき洗いをしないでください。
- ミル容器のミルカッター部は手を切らないように注意し、付属のへらつきブラシなどで洗います。



5 乾いたふきんでふき取る

6 本体の汚れをふきんでふき取る

電源コードの収納方法

- 電源コードを折りたたみ、コードホルダーに収納します。
- ◆使用の際は必ず電源コードをコードホルダーから取り出してください。
- ◆電源コードを収納または取りはずすときは、無理に引っ張ったり、力を加えないでください。

